

3月議会・一般質問 生活介護きじばと

3月11日にふじしまともこ議員が一般質問をしました。その中から生活介護きじばとに関する質問を答弁と一緒にご紹介します。

生活介護きじばと廃止問題と障害福祉サービスの課題

◎利用者・家族との認識にズレ

【問】生活介護きじばとでは、令和8年1月時点で26人中17人の転所先が決まっておらず、その後も見学に行っただけで転所希望と扱われるなど、市と利用者・家族の認識に乖離があります。実際には半日程度の見学であり、普段の様子も分からないまま判断されているケースもあります。転所は進んでいるとは言えないのでしょうか。

【答】本市では利用者やご家族一人ひとりの状況を丁寧に聞き取り、見学や実習を通じて転所調整を進めてきました。3月1日時点で26人中19人の転所先が決定しており、その他の方についても意向を踏まえながら調整を進めています。

◎「分断しないで」「みんなと一緒に」

【問】きじばと廃止の通知から8か月が経過する中で、利用者・家族は不安な日々を過ごしています。夢工房を希望する声も多く、26人中16人が希望したと聞いていますが、全員が入れない場合には分断せず現施設での継続を求める声が上がっています。2月24日には家族が集まり「全員と一緒にきじばとに居たい」と確認しています。継続を検討すべきではないでしょうか。

【答】夢工房を希望される方については受け入れ体制を踏まえる必要があり、他の事業所を希望される方もいらっしゃいます。受け入れが困難な場合には理由を説明し、ご本人・ご家族の意向を伺いながら他事業所への転所調整を進めています。

◎行き場を失う不安と現場の混乱

【問】2月後半に夢工房への転所内定を受けた方がいる一方で、入れない方もおり、さらに別の民間事業所からも受け入れが難しいとされたケースもあります。すでに転

所した方の中には「きじばとに戻りたい」と希望する声もあり、4月からの転所に不安を抱える方もいます。このような状況は丁寧な対応とは言えないのではないのでしょうか。

【答】本市としては、利用者やご家族の意向を丁寧に伺いながら、それぞれの状況に応じた転所先の調整を進めているところであり、年度内に転所を希望するすべての利用者の転所先が決定するよう取り組んでいます。

◎障害福祉サービスは足りているのか

【問】きじばとは、民間施設への受け入れが難しい方にとって重要な役割を果たしてきました。特別支援学校では、川口特別支援学校が398人、鳩ヶ谷分校が48人、和光南が364人、草加市のかがやきが349人と、いずれも多くの子供生徒が在籍しています。卒業後の受け皿不足が懸念される中で、きじばとを廃止すれば鳩ヶ谷地域の施設バランスも崩れ、送迎時間の増加などにより通所を断念せざるを得ないケースも生じかねません。障害福祉サービスは十分と言えるのでしょうか。

【答】障害福祉サービス事業所の整備については、限られた財源の中で効率的に進めるため民間事業者の力を活用しています。今後は令和8年度に策定する障害者自立支援福祉計画においてサービス必要量を見込み、必要な施設整備が図られるよう支援してまいります。

◎再質問 廃止方針の見直しを

【問】きじばと廃止は新聞でも報道され全国的に注目されており、市政への評価や信頼にも関わる問題です。利用者・家族の暮らしや人生に大きな影響を与える中で、これまで川口市が積み上げてきた障害福祉の取り組みが損なわれかねません。廃止の見直しを求めます。

【答】生活介護きじばとについては、市が実施する事業のうち民間では充足が困難なサービスに重点化する方針に基づき廃止としたものです。引き続き利用者やご家族の話を丁寧に伺いながら転所調整を進めてまいります。

◎強く要望

【問】利用者・家族は、6月以降何度も市や議会に要望を届け、励まし合いながら声を上げ続けています。障害のある方が安心して過ごせる生活の場を失うことがないように、最後まで解決策を模索すべきです。市の決断を求めます。



2026年3月29日 No.1830

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

「3.13 重税反対 総行動」



行われる

3・13重税反対全国統一行動は、重い税負担と過酷な徴収に反対し、納めるべき税額は自分で計算し、申告するという申告納税制度の擁護・発展をめざす国民の一大行動です。

この日は全国各地で集団行動が行われ、川口市でも毎年この時に確定申告の集団申告とデモ行進を行っています。今年は並木元町公園で集合し開会式が行われました。朝9時代の水色の空の元で桜が咲いていましたが、広場を埋めるほど集まった人々は皆、冬服で民主商工会の赤い法被と埼玉土建の黄色い旗が目立っていました。

党市議団からはふじしま市議が参加しました。川口と西川口の税務署コースに分かれて「インボイス廃止」「値上げラッシュで暮らしは限界」「人権無視の税務調査をやめろ」等のシュプレヒコールをしながらデモ行進をしていきました。通りすがりの人や車に乗った人、近所の家や店にいる人が「なんだろう」というような目で行進をじっと見ている動画を撮っている人も居ました。



子どもの成長と発達、 権利を保障する学校教育を

日本共産党市議団の 令和8年度予算要望に応えた教育行政へ

新年度予算等を審議した3月定例会市議会は3月23日で閉会となりました。

新年度予算編成に向け日本共産党市議団は「学校給食の無償化を進めること。当面、物価高騰の影響による学校給食費の引上げに対し、保護者負担の軽減策を継続するとともに更なる負担軽減に取り組むこと」「中学校の体育館のエアコンの運用は、安全衛生基準に基づき適切に使用を促すこと。また、小学校体育館へのエアコンの設置を早急にすすめること」「小中学校の施設の老朽化対策、教室等への風雨対策、照明等の点検、校庭の防塵、安全対策の充実を図るための改修・改善を急ぐこと」等求めてきました。以下、新年度事業の詳細についてご報告します。

■学校給食発注事業

小学校：国費に併せ市費負担により、小学校分全額を公費負担。

中学校：重点支援地方交付金を活用し、中学校主食費相当分を公費負担。

■小学校体育館空調機設置事業

実施設計実施校：本町小・芝富士小・前川東小・安行東小・木曾呂小
戸塚綾瀬小・辻小

■川口市立高等学校施設維持補修事業

令和8年・令和9年の2か年でアリーナS棟空調機設置工事を実施。

■小・中学校LED改修事業

小学校実施校：元郷小・飯塚小・神根小・十二月田小・並木小・安行小
芝南小・神根東小・芝中央小・戸塚綾瀬小・上青木小
東本郷小・東領家小

中学校実施校：南中・上青木中・十二月田中・仲町中・芝西中・神根中
鳩ヶ谷中